



## ピアノ: 智内 威雄 (ちない たけお)

東京音楽大学在学中にミラノにて研鑽を積む。卒業後、ドイツ国立ハノーファー音楽大学に入学、その間、グリーク国際コンクール、マルサラ国際音楽コンクールにて入賞受賞。2001年ジストニアが発症し休学・リハビリに専念する。右手の演奏復帰はならなかったが、日常生活に支障をきたさないまでに回復する。2003年よりドイツにて左手のピアニストとして活動を再開する。2006年に広島交響楽団とラヴェルの「左手のための協奏曲」を共演し絶賛され、同年日本デビューをする。「左手のピアニスト」として驚異的なテクニックと深遠かつ豊かな音楽性で新境地を切り拓く。歴史的楽曲の復興と、片手演奏の普及を目指し「左手のアーカイブ」プロジェクトを設立、代表を務める。関西テレビ、NHK ETV 特集「左手のピアニスト～もうひとつのピアノ・レッスン～」、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、共同通信、NHK (AM、FM、TV) 等のメディア各社にて活動の特集が組まれる。著書に「ピアノ、その左手の響き (太田次郎社)」がある。2016年神戸アートアワード大賞受賞。



## 朗読: 善竹 隆司 (ぜんちく たかし)

能楽師大蔵流 狂言方。

二世善竹忠一郎の長男で父に師事。五歳の時、狂言「靱猿」で初舞台。手塚治虫作品「ブラック・ジャック」を原作に新作狂言「勘当息子」「老人と木」を制作上演し好評を得る。

「兵庫県芸術奨励賞」「大阪文化祭賞」大阪市「咲くやこの花賞」受賞。

兵庫県立宝塚北高等学校演劇科・大阪芸術大学舞台芸術学科講師。

重要無形文化財総合指定保持。日本能楽会会員。



## 作曲: 川上 統 (かわかみ おさむ)

1979年生まれ。東京音楽大学、同大学院修了。作曲を湯浅譲二、池辺晋一郎、細川俊夫、久田典子、山本裕之の各氏に師事。

2003年、第20回現音新人作曲賞受賞。作曲作品は150曲以上に上り、国内外で演奏され、楽譜はショットミュージック株式会社より出版されている。

Ensemble Contemporary a、ROSCO、voxhumana、混声合唱団「空」、東京現音計画、next mushroom promotion、リベルテマンドリンオーケストラなどの様々なアンサンブル、演奏家からの委嘱初演がなされている。智内威雄氏からも2013年に委嘱を受け、朗読と左手のピアノのための「宮沢賢治の夜」を作曲。各地で演奏され好評を博している。

16世紀に宣教師によって翻訳され日本に入ってきたとされる「イソゾク物語」は、その後明治時代に『通俗伊蘇普物語』として発行され、「画鬼」と呼ばれた天才絵師 かわなべきょうさい 河鍋暁斎 (1831-1889) のユーモラスな挿絵と相まって、大ベストセラーになりました。

この異彩を放つ作品を、暁斎の挿絵を紹介しながら、気鋭の作曲家川上統の作曲、智内威雄のピアノ演奏、そして善竹隆司によるオリジナルの語り口を活かした朗読で綴ります。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

## 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

## 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。